



おくの

牛久市立奥野小学校

学校だより No.9

発行日 H28.2.1



9年間の「学び」の連続性

奥野地区の教育は、奥野小学校・牛久第二中学校での9年間の学びの連続性を大切にしています。児童生徒数が少ないというメリットを生かして、小・中の教職員が連携し、一人一人の子どもを9年間見守っていくことを大切にしています。

夏休みには、牛久第二中学校を会場として合同職員研修会を行っています。学習につまづいている児童生徒を、全員で把握し、個別の指導に生かしています。

中学校には、6年生の教室が常に用意されています。奥野小の6年生は、入学前に中学校教師による授業を受けたり、一日中学校で過ごす体験をしたりします。子ども達にとって中学校への進学は、不安と期待が入り交じり、気持ちばかり焦ってしまうことも多いのです（中一ギャップ）が、中学校の6年生教室での体験によって、進学への不安もなくなります。

本校では、「国際理解教育」と「ESD教育（環境教育を通して自然と共生する学習）」に力を入れています。これも、9年間の連続性を大切にしています。

小学校での英会話は、中学校の英語につながります。小学校で英語に親しみ慣れた子ども達は、中学校で本格的に英語の授業が始まったとしても、意欲的に英語の学習に取り組む事が期待できます。その結果、中学校では、今まで以上に英語の学力が向上すると考えられます。

小学校で行われている「ESD教育」は、中学校での「歩く会」にもつながっています。中学校の「歩く会」は、3年間で奥野地区全域を踏破し、奥野の良さや課題をつかむ活動です。この他、9年間の環境教育を通して、自然と共生する学習に力を入れていきます。そして、この学習で、ユネスコスクールにつないでいきます。

このように、奥野地区の教育は、子ども達の9年間の成長を見通しています。今後も、奥野地区の教育をよろしくお願い致します。



イングリッシュルーム完成！大人気です！

本校は、国際理解教育に取り組んでいます。先日、待望のイングリッシュルームが完成しました。ALTのアレックスさん、スティーブンさんのアイデアが満載で、読書コーナーやゲームコーナー、アルファベットの書き方練習コーナーなどがあります。壁には、外国のポスターがたくさん貼ってあり、イングリッシュルームに入った瞬間、外国にいる気分になります。

イングリッシュルームでは、日本語を使わない約束になっています。子ども達は、習ったばかりの英会話を使ったり、身振り手振りでコミュニケーションしたりして、楽しく活動しています。昼休みには、たくさん子ども達ですぐに満員になってしまいます。

学校公開等で御来校の際には、ぜひイングリッシュルームを御覧になってください。



避難訓練がありました

1月15日（金）、不審者対応の避難訓練がありました。不審者が校内に侵入してきた時の動きを訓練した後、不審者に出会ってしまったときの対応方法について、代表児童のロールプレイングで学習しました。

不審者はいつ来るか分かりません。常に、意識を高くもたせて、安全な生活を送ってもらえるよう、教職員一同しっかりと指導をしていきます。



常総市への募金ありがとうございました。

皆様の御協力で、1万5千円の募金が集まりました。

被災した常総市の学校に、送らせていただきました。

スマホやタブレット端末で、このQRコードを読み取ると、奥野小学校のホームページが御覧になれます。

